

日 時：平成 23 年 12 月 20 日（火） 午前 10 時 00 分～11 時 45 分

場 所：旭川市市民活動交流センター 1 階 ホール

出席者：構成員 25 名

赤岡, 岸, 東, 畑島氏, 和田氏（代理：豊田氏）, 蟹谷氏,
矢野氏, 荒川氏, 立身氏, 阪本氏, 岡氏, 宮川氏,
村田氏, 馬場氏, 森田氏, 須藤氏, 飯田氏, 浜井氏,
小寺, 今井氏, 鈴木氏, 桑原氏, 秋山氏, 高橋氏,
田中氏

事務局 4 名

総合政策部まちづくり推進課 東田課長 ほか 2 名
（社）北海道開発技術センター 鷗東

傍聴者 8 名

1 開 会

2 旭川市長 あいさつ

3 出席者紹介

4 設置要綱説明

事務局より説明後、質疑。

構成員) 交通会議の開催の回数ほどのくらいになるのか？交通会議は、到達点として、最終的な報告書などの成果物をつくることを目指すのか？それとも、地域での合意形成を目指すとするれば、毎年、開催する永続的なものなのか？その辺りの見通しはどうか？

事務局) 地域公共交通会議の運営としては、開催頻度は年間 3～4 回程度と、現在のところ考えている。収入支出に関する予算・決算、事業計画に関する事などが議題になってくるので開催が必要になる。また、地域公共交通会議は、何か成果物をまとめることによって解散となるような性格ではなく、道路運送法の規定に基づき、持続可能な公共交通の実現と、現実社会が日々移り変わる状況に対応していくため、常設の会議と考えている。なお、道路運送法等の改正に伴い、運営や開催のあり方について、随時、見直していく必要があると考えている。

以上、設置要綱の確認が終了。

5 議 事

1) 監事の選任について

旭川市市民委員会連絡協議会理事 岡 愛三氏と旭川商工会議所事務局長 須藤 学氏の2名を選任。

2) 地域公共交通基礎調査の進捗について

資料5をもとに、平成23年度に旭川市が行っている事業を関連して説明。質問、意見無し。

3) 平成23年度事業計画(案)について

4) 平成23年度予算(案)について

一括して事務局から説明した後、質疑応答。

構成員) 予算案に約1,800万円の事業費が計上されているが、これはどのように算出されているものか?

事務局) 1,844万7千円の事業費の内訳は、JRやバスの乗降調査として、1,136万6千円。2万1千世帯への交通に関するニーズ・アンケート調査として、706万2千円。これに、旅費9千円、事務費1万円を加え、計1,844万7千円となっている。JRやバスの乗降調査に当たっては、概ね500人工を超える規模で実施していくこととしている。それとともに、ニーズ・アンケート調査についても、アンケート資料の作成や内容の確認などの作業を行う。これらの結果に基づき、総合的な公共交通計画の策定につながるよう事業を実施する。

構成員) 今年度の調査事業は3月までの冬期間であるため、バスやJRにしても冬期は公共交通利用が見込まれる期間の結果となる。データの信頼性を考えると、本来であれば、冬期と夏期の両方が必要になると思うが、どうか?

事務局) ご指摘のとおり、今回の調査事業では、冬期に旭川市民が公共交通を最大限、利用する実態を押さえるため、この期間を設定している。自転車や徒歩による移動が顕著になる夏期については、平成24年度において別途、実施する調査事業において補足的に状況をつかまえてみたい、と考えている。

構成員) 年度途中からの事業着手ということで、タイトなスケジュールだと感じている。約3カ月の間で21,000件の調査票の配布・回収・集計・報告など全て3月までに終わるのか?それとも調査までを行い、報告書などは次年度以降に作成することを想定しているのか?

事務局) ご指摘のとおり、大変、時間が短い状況を覚悟している。国の支援をいただいで調査事業のため、規定の期間までには事業を仕上げていかなければならない、と考えている。

以上、質疑終了。事務局説明どおり、決定。

5) その他

特になし。

以上、議事終了

6 その他 ~公共交通のあり方について有識者からのプレゼンテーション

別紙資料をもとに、構成員である北星学大学客員教授である秋山哲男氏より講話。

7 閉 会

以 上